

指定校番号	31039	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立三次中学校	校長	迫田 隆範	生徒指導主事	平本 敏明
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名		『ミニボランティア活動』			
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・協調性」	1	「自己の良さ」	2
取組のねらい					
<p>○ 生徒会自治活動（ミニボランティア活動）を通して、生徒自身が主体的に学校環境を創ることで達成感や生活意欲を高める。</p> <p>○ 学校の一員として、学校を大切にしたい気持ちを育てるとともに、自己有用感を高め、仲間との連帯感を強める。</p> <p>○ 仲間とコミュニケーションをとり、協力してボランティア活動を行うことができる。</p>					
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『自覚・責任 自己有用感』		
<p>○ 生徒会委員会（美化・ボランティア委員会）による計画・立案・運営</p> <p>○ 担当委員会による各クラスへの呼びかけ</p> <p>○ 当日の動き（放課後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式 委員長挨拶 各グループでの作業内容の確認 ・ ミニボランティア活動実施 プランターの花苗の植替え、花壇の手入れ 等 ・ 閉会式 <p>○ 担当委員会による振り返り</p>			<p>・ 委員長が全校朝会で呼びかけ、その後、各クラスで担当委員が参加者を募ることで、担当委員としての自覚を持たせる。</p> <p>・ 生徒は、参加の有無や作業内容を自ら選ぶことで、自覚と責任につながっている。</p> <p>・ 当日の作業では委員をリーダーにグループでの活動を行っている。</p>		
取組の成果と課題					
<p>・ ボランティア活動の活性化については、ミニボランティア活動を学期1回以上行っている。美化委員会を中心にプランターの花苗を植え替え、ボランティア委員会を中心に本校近くにあるものけミュージアムにプランターを設置した。みよし学園一斉ボランティアでの活動を含め、2学期末現在で（全校生徒143名中）延べ254名の生徒が参加した。</p> <p>・ 【学校生活アンケート（12月）より】</p>					
項目		生徒	保護者	教職員	
ボランティア活動に積極的に取り組んでいる		75.2%	62.4%	68.4%	
生徒会活動や学校行事に積極的に取り組んでいる		85.8%	83.8%	94.7%	
<p>・ 継続的なボランティア活動の実施とともに、生徒の自己肯定感等を高めていくためにも「みよしふれあいパスポート（ボランティア手帳）」を活用していく。</p> <p>・ 一人一人の意識をさらに高める必要があり、今後は地域と連携し、校区内をフィールドとして地域単位でのボランティア活動に参加を促す。</p>					